

カンジン貯水池

(かんじんちょすいち)



貯水池遠景



貯水池近景 浮島を臨む



ため池の概要

ため池の所在地

沖縄県島尻郡久米島町

ため池の特徴

カンジン貯水池は、「地表たん水型地下ダム」による世界的にも貴重なため池で、地下に止水壁を設けて堰き止めた地下水を、凹地を利用して地表まで貯留しています。

厳しい気象条件の島嶼地域の農業を支えるために、平成17年に造成されました。

周辺は豊かな緑に囲まれ、特に樹齢の高いリュウキュウ松の大木が際だち自然の壮大さを感じさせます。対岸から突き出た形の森は、洋上に浮島があるかのような景観を造り、木々で休む渡り鳥の姿がよく見られます。

貯水池では、久米島だけに生息し沖縄県指定天然記念物となっているクメジマボタルや陸生ホタルなど希少種の生き物が生息しています。

そのため、周辺の水路や湿地棚田では、水生植物などを育てて、貯水池に流れ込む生活排水や畜産排水、肥料分などの富栄養物を緩やかに浄化する機能を持たせています。

現在、この地域では小学校を中心に動植物の観察会やサガリバナの植栽、フナの放流などを行っており、毎年5月にはクメジマボタル観察会が行われています。

このような積極的な自然環境保全の取組みによって生態系が保たれており、地域の人々と関わりがとて深い貯水池となっています。

関連情報

久米島町HP: <http://www.town.kumejima.okinawa.jp/>